

# グローバルファンドの貢献 持続可能な開発目標 (SDGs)



注：上記図におけるグローバルファンドのSDGsへの貢献の度合いは、グローバルファンド日本委員会の解釈に基づきます。

# グローバルファンドの貢献

## 感染症対策に人権保護を組み込む

### 目標3

すべての人に  
健康と福祉を



あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

#### ■ ターゲット3.3 || エイズ、結核、マラリアの流行を終息させ...

グローバルファンドは、エイズ、結核、マラリア対策に必要な資金を世界100カ国以上に提供し、すべての人がより健康、安全でかつ公平に暮らせるよう支援しています。

#### ■ ターゲット3.8 || ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) を達成...

グローバルファンドは、保健医療サービスへのより良い、公平なアクセスを確保するとともに、保健システムとコミュニティシステムを強化すべく、年間10億米ドル以上を投資しています。さらに、エイズ、結核、マラリアによる負担の軽減は、他の疾患に対する保健とコミュニティのシステムにおけるサービスやリソースの確保につながり、UHC達成に向けた進展を後押しします。



マグダ・ロバロ

ギニアビサウ 元保健大臣

「グローバルファンドは、死亡率の低下や疾病予防だけでなく、保健システムの強化やコミュニティ中心の活動にも貢献できる、唯一無二のパートナーシップ。」

### 目標5

ジェンダー平等を  
実現しよう



ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女児のエンパワメントを図る



カライシャ・アブドゥル・カリム

南アフリカ CAPRISA共同創設者

「世界に130万人いる新規HIV感染者の約半数がサハラ以南アフリカに集中しており、そこでは、新規感染者の63%が思春期の少女や若い女性です。」

#### ■ ターゲット5.1 || あらゆる場所における全ての女性及び女児に対するあらゆる形態の差別を撤廃する

グローバルファンドは、エイズ、結核、マラリアの蔓延と影響を助長するジェンダー格差の是正において重要な役割を果たしています。2018年から2020年の間、HIVの負担が最も大きい13の優先国において、思春期の少女および若い女性に対するHIV予防と検査へのグローバルファンドの投資額は倍増しました。2010年以降、これらの国々では、思春期の少女および若い女性のHIV感染率は56%減少しています。

### 目標10

人や国の不平等  
をなくそう



国内および国家間の格差を是正する

#### ■ ターゲット10.3 || 機会均等を確保し、成果の不平等を是正...

グローバルファンドが支援するプログラムは、影響を受ける人々が健康に関する自らの権利を知り、その権利を主張し、医療施設および地域社会の両方において、サービスの改善を要求できるようにエンパワーします。

2017年より、グローバルファンドの「Breaking Down Barriers (障壁の撤廃)」イニシアティブは、エイズ、結核、マラリア対策における人権とジェンダー関連の障壁に取り組むため、24カ国に資金的・技術的支援を提供しています。



ジェフリー・アカバ

タイ APCASO 上級プログラム・オフィサー

「公衆衛生の名の下に、一部の人々を排斥することを正当化したり、特定の人々を犯罪者扱いするケースを目の当たりにしてきました。人権に関する原則を尊重し、取り組みはしっかりと継続すべきです。」

包括的なアプローチにより、すべての人が保健サービスを利用できるようになります。



**FGFJ**  
Friends of the Global Fund, Japan  
グローバルファンド日本委員会